

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料



クオールホールディングス株式会社

2025年2月7日

東証プライム：証券コード 3034

The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
3034



報告セグメントの変更について

第一三共エスファの連結子会社化によって医薬品製造販売事業の規模が拡大したことに伴って、2025年3月期第1四半期より報告セグメントを変更

<変更の主なポイント>

- ① 事業活動の実態をより適切に表すため、セグメント名称を変更
- ② 情報開示を拡充することを目的として、「製薬事業」を新設
(「医療関連事業」に従来区分していた医薬品製造販売事業を「製薬事業」に移管)

旧報告セグメント

保険薬局事業
医療関連事業



新報告セグメント

薬局事業	・保険薬局の経営
BPO事業	<ul style="list-style-type: none"> ・CSO事業 ※CSO:Contract Sales Organization の略 ・CRO事業 ※CRO:Contract Research Organization の略 ・医療系人材の紹介・派遣 ・医療系出版
製薬事業	・医薬品製造販売の運営

※BPO:Business Process Outsourcing の略

I

決算概要

【増収増益】 過去最高の売上・営業利益/経常利益

連結業績

- ・ 第一三共エスファ株式保有割合51%のため、四半期純利益は増益であるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益

薬局事業

- ・ 増収減益
- ・ 前期M&Aや新規出店、在宅/施設調剤の推進等により、受付回数増加
- ・ 一方で仕入れや人件費等の運営コストが増加

BPO事業

- ・ 増収増益
- ・ 主力事業であるCSO事業、紹介派遣事業の規模が拡大
- ・ 社員の採用強化及び生産性の向上により、薬剤師紹介派遣の成約数が特に増加

製薬事業

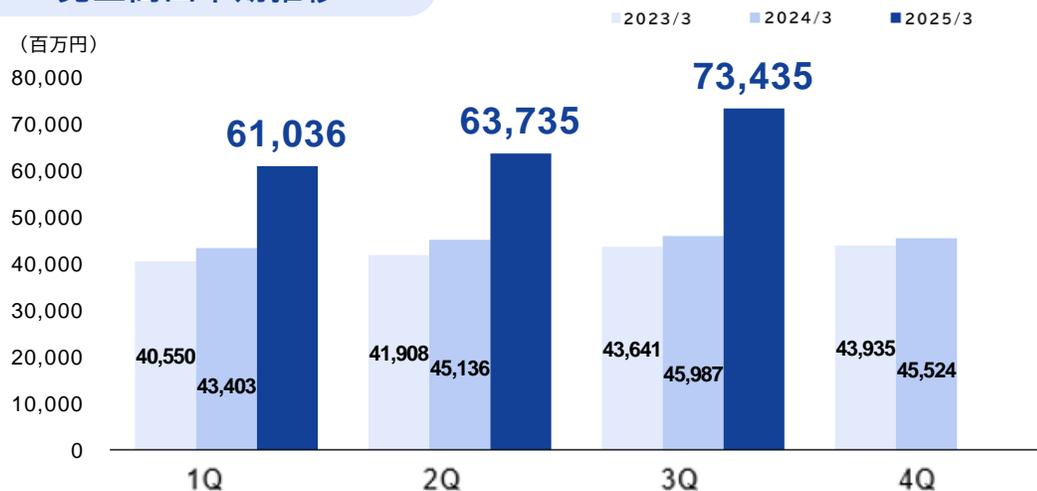
- ・ 第一三共エスファが2025年3月期第1四半期より連結子会社化(株式保有割合51%)
- ・ AG新製品3成分が発売(第一三共エスファ、2024年12月)

連結業績ハイライト



(単位:百万円)	2023年3月期 第3四半期 実績	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	増減額	増減率(%)
売上高	126,101	134,528	198,207	63,679	47.3%
営業利益	6,841	5,729	11,034	5,304	92.6%
経常利益	7,094	6,523	11,361	4,837	74.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,158	3,774	3,524	△250	△6.6%
1株当たり 四半期純利益(円)	112.57	101.47	94.22	△7.2	△7.1%

売上高四半期推移



経常利益四半期推移



(単位:百万円)

	2025年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 通期 計画	進捗率
売上高	198,207	270,000	73.4%
営業利益	11,034	15,000	73.6%
経常利益	11,361	15,200	74.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,524	5,000	70.5%
1株当たり 四半期純利益(円)	94.22	133.68	70.5%

※2024年11月1日に業績予想の修正を公表

連結損益計算書



(単位:百万円)	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	増減	増減率(%)
売上高	134,528	198,207	63,679	47.3%
売上原価	117,559	167,803	50,243	42.7%
売上総利益	16,968	30,404	13,435	79.2%
販管費	11,238	19,369	8,131	72.4%
営業利益	5,729	11,034	5,304	92.6%
利益率	4.3%	5.6%	—	—
経常利益	6,523	11,361	4,837	74.2%
利益率	4.8%	5.7%	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,774	3,524	△250	△6.6%
利益率	2.8%	1.8%	—	—

連結貸借対照表



(単位:百万円)	2024.3.31	2024.12.31	増減
流動資産	52,690	75,717	23,027
現金及び預金	27,282	36,338	9,055
固定資産	65,089	98,771	33,682
有形固定資産	16,281	16,884	602
無形固定資産	33,136	71,684	38,547
投資その他の資産	15,670	10,203	△5,466
資産合計	117,779	174,489	56,710
流動負債	38,823	88,618	49,794
固定負債	26,118	25,485	△632
負債合計	64,941	114,103	49,162
有利子負債	31,882	30,186	△1,696
純資産	52,837	60,385	7,548
自己資本	52,789	55,433	2,644
負債純資産合計	117,779	174,489	56,710

	(単位:百万円)
流動資産	+ 23,027
現金及び預金	+ 9,055
受取手形、売掛金及び契約資産	+ 8,854
固定資産	+ 33,682
営業権	+ 29,933
のれん	+ 8,344
関係会社株式	△ 7,714
流動負債	+ 49,794
買掛金	+ 16,558
未払金	+ 23,081
返金負債	+ 7,840
固定負債	△ 632
長期借入金	△ 2,171
純資産	+ 7,548
非支配株主持分	+ 4,903
利益剰余金	+ 2,317

- 製薬事業における新製品発売に伴い、営業権が増加(2024年12月、AG3成分7品目)

セグメント概況



(単位:百万円)

	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	前年同期比 増減率
薬局事業売上高	123,253	128,781	4.5%
セグメント利益	7,593	7,026	△7.5%
利益率(%)	6.2%	5.5%	
BPO事業売上高	10,009	10,057	0.5%
セグメント利益	1,131	1,225	8.3%
利益率(%)	11.3%	12.2%	
製薬事業売上高	1,265	59,367	—
セグメント利益	△246	5,440	—
利益率(%)	△19.5%	9.2%	

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報には、第1四半期連結会計期間より連結子会社化している第一三共エスファ株式会社の数値は含まれておりません。

II

セグメント情報



- ・増収減益
- ・前期M & Aや新規出店、在宅/施設調剤の推進等により、受付回数増加
- ・一方で仕入れや人件費等の運営コストが増加

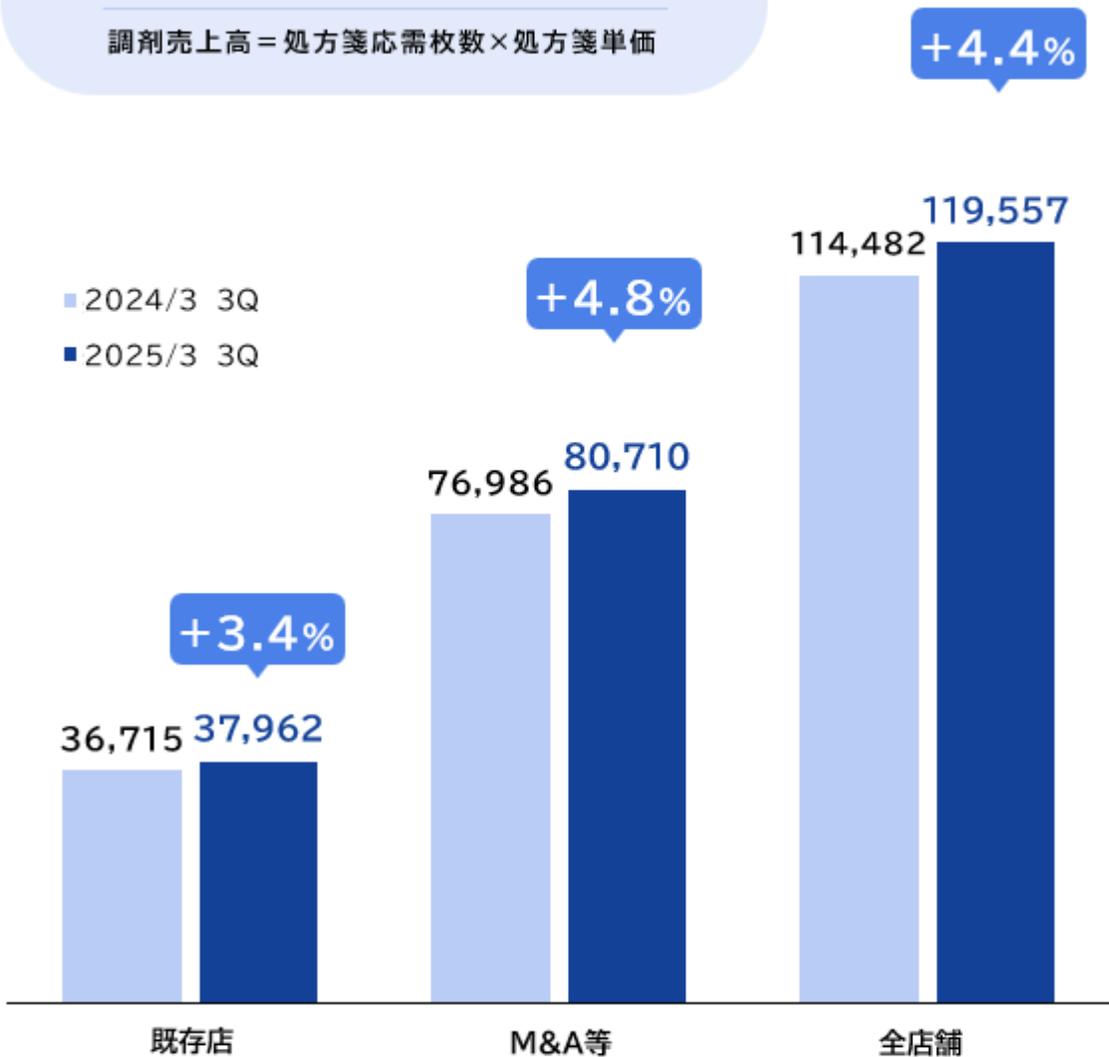
(単位:百万円)

	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	増減率(%)
売上高	123,253	128,781	4.5%
費用	115,736	121,833	5.3%
セグメント利益	7,593	7,026	△7.5%
主な報酬改定等	・地域支援体制加算 経過措置終了	・6月改定(従来は4月) ・選定療養制度開始(10月) ・医療DX加算要件見直し(10月)	—

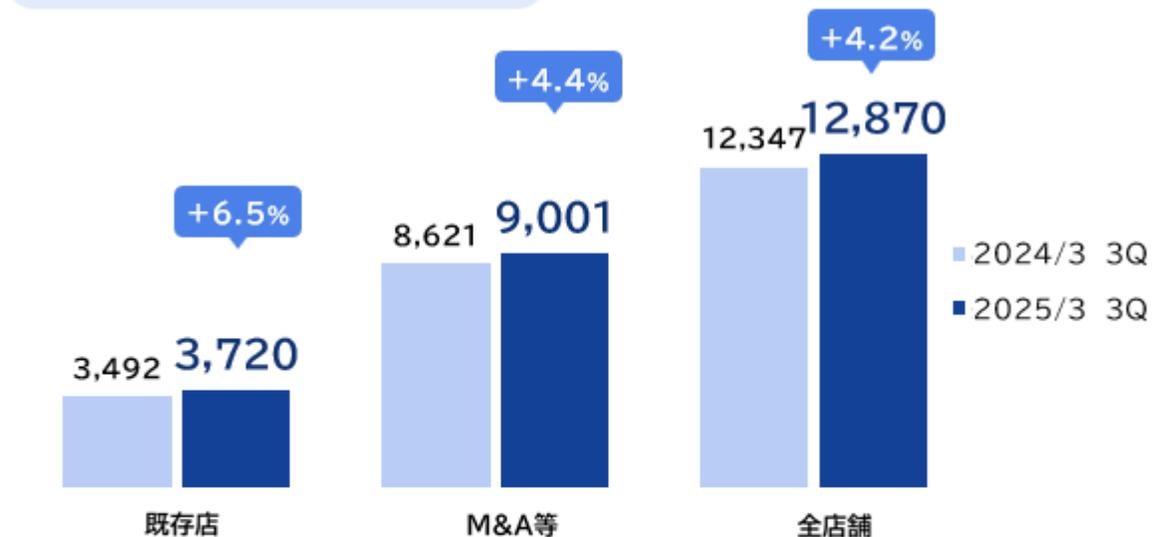
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。

調剤売上高(百万円)

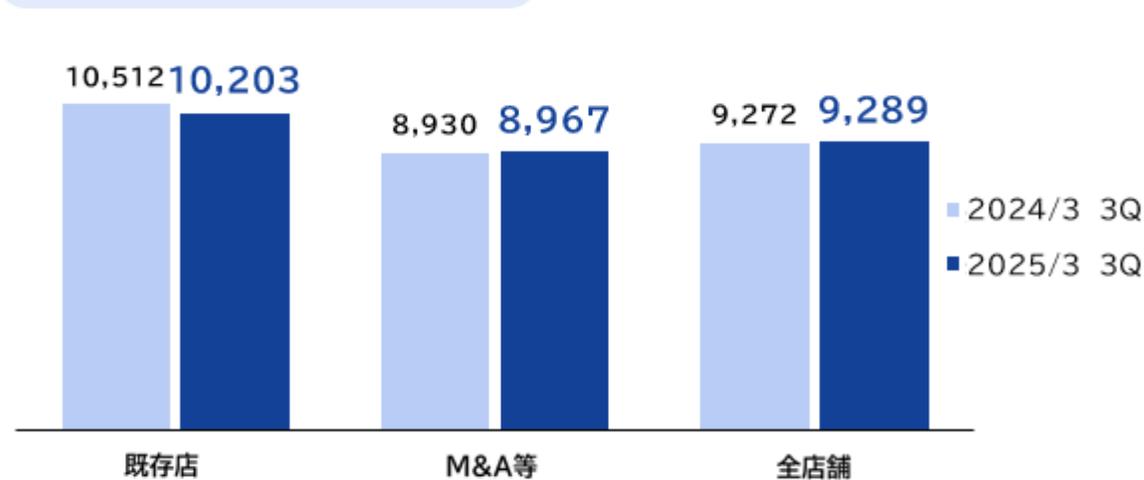
調剤売上高 = 処方箋応需枚数 × 処方箋単価



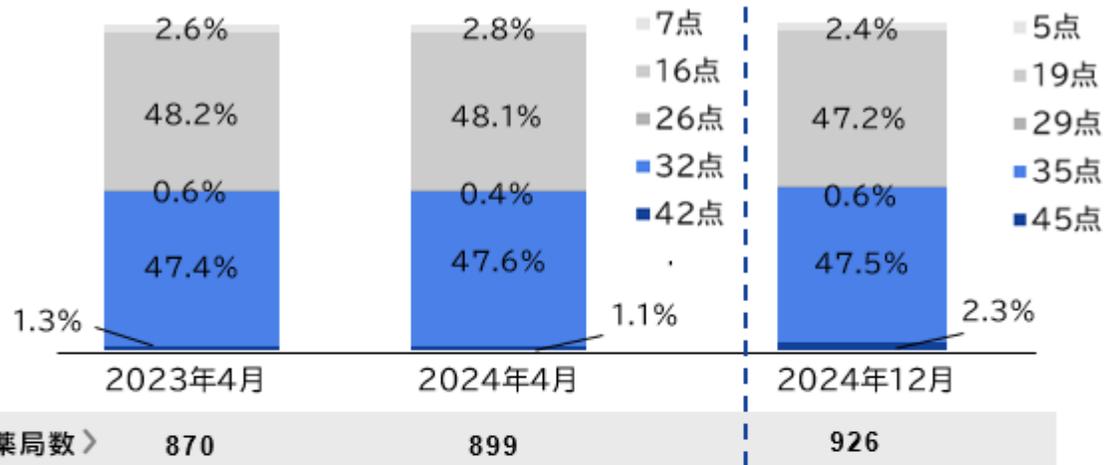
処方箋応需枚数(千枚)



処方箋単価(円)

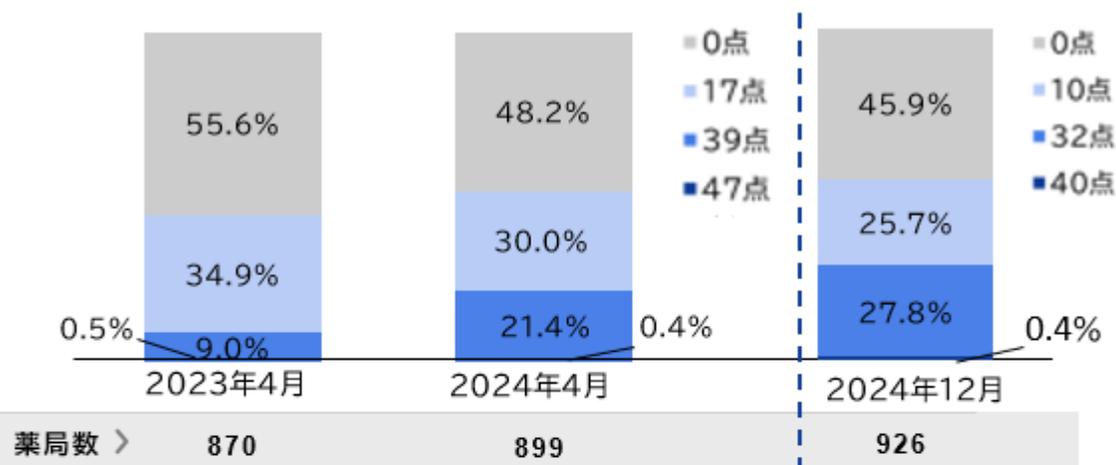


調剤基本料 店舗割合

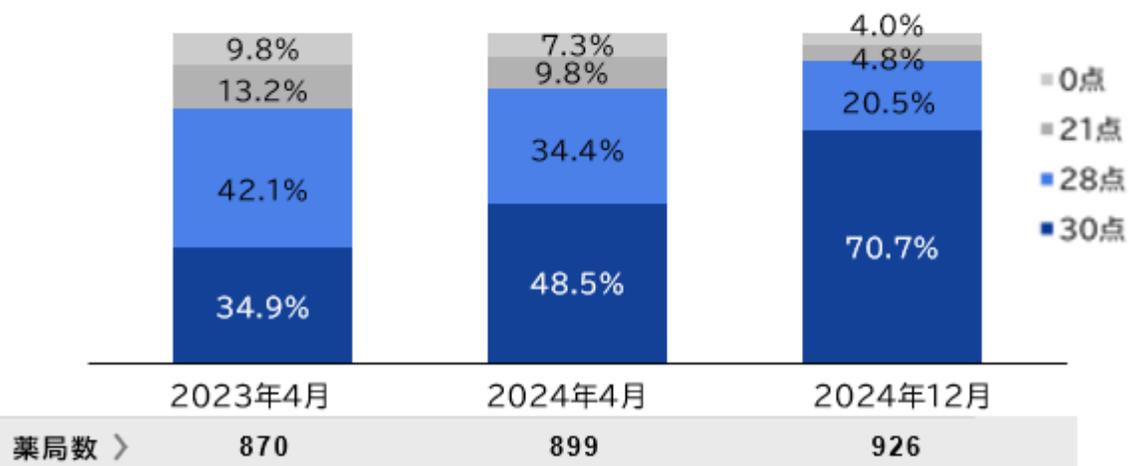


地域支援体制加算 店舗割合

(連結ベース)



GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



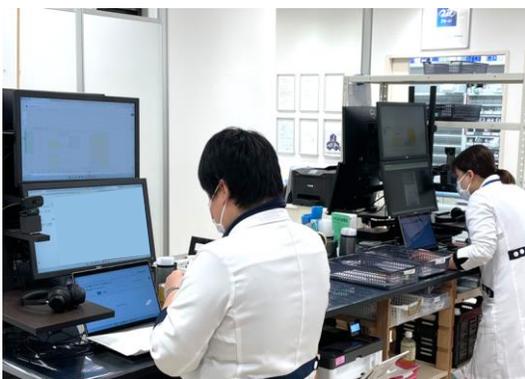
GE変更率(数量ベース)

91.2%
(2024年12月)

新店・M&Aともに順調に店舗数増加

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3 3Q累計
新店	20	17	18	16	15	21	16	17
M&A	14	50	39	18	15	48	17	26
売店	1	0	3	0	1	1	2	1

- 2024年10月にクオール初オンライン専門薬局『クオールどこでも薬局』がオープン
- 大型商業施設への新規出店



(クオールどこでも薬局)



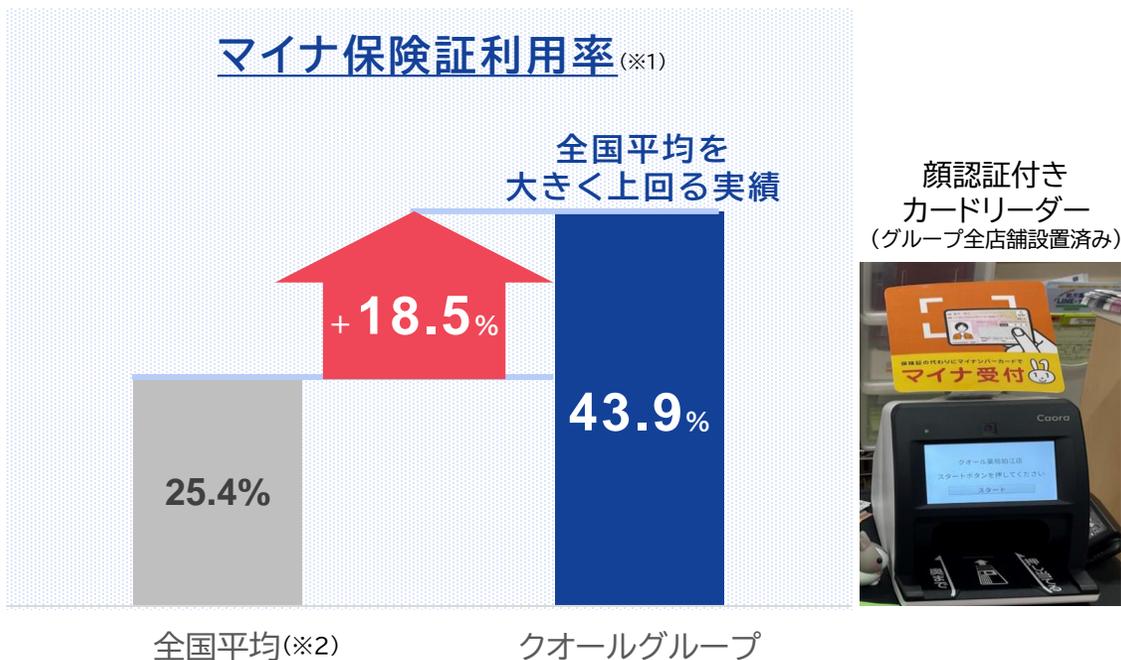
(クオール薬局ニトリモール相模原店)



医療DX推進による患者さまの利便性向上

マイナ保険証の利用促進

- ・患者さまの利便性向上のため、国の指針に基づき、マイナ保険証の利用を促進
- ・マイナ保険証の利用率^(※1)は全国トップクラス



LINEアプリ『クオールおくすり便』

- ・事前処方箋送信 & オンライン服薬指導

処方箋 LINEで予約!

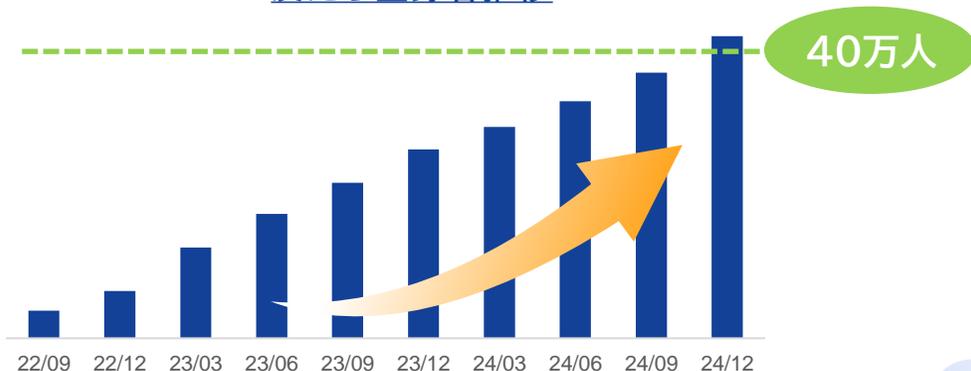
クオールのLINE公式アカウントと
友だちになろう

お薬ができれば
LINEでお知らせ

その他の便利な機能

- マイナポータル連携機能
- アフターフォロー機能
- お薬手帳自動連携機能

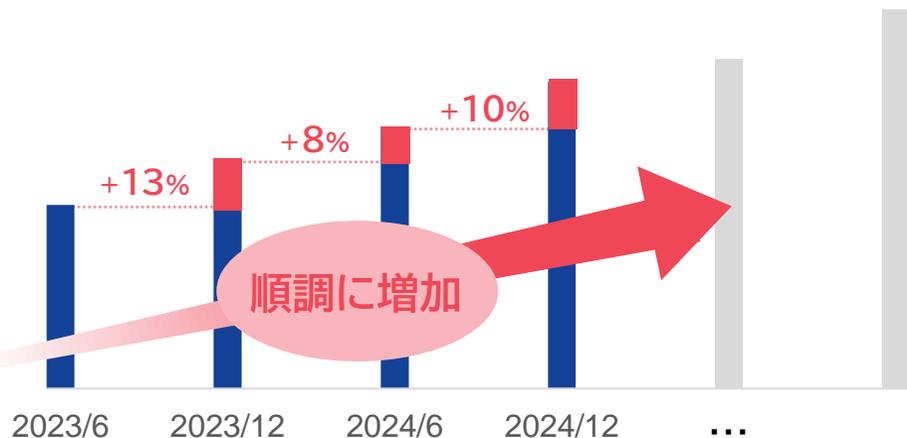
友だち登録者推移



在宅事業を推進、規模拡大

全国約950店舗のドミナントとクオール独自サービスで、高付加価値な在宅医療サービスを提供

在宅訪問件数※の推移



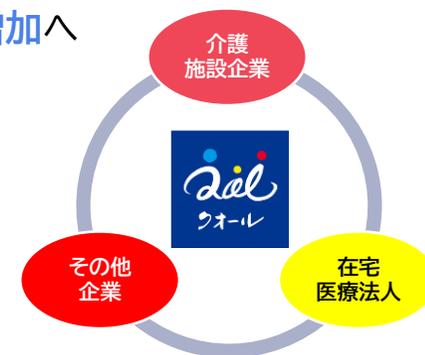
※介護保険における居宅件数



イベント

医療・介護の企業連携へ『介護医療連携会』をクオールが定期開催

- 相互紹介による企業連携を強化し、在宅処方へのアプローチおよび在宅施設数の増加へ



ツール

患者さま・介護職員の皆さまを強力サポート
医療安全管理アプリ、服薬支援ロボットの活用

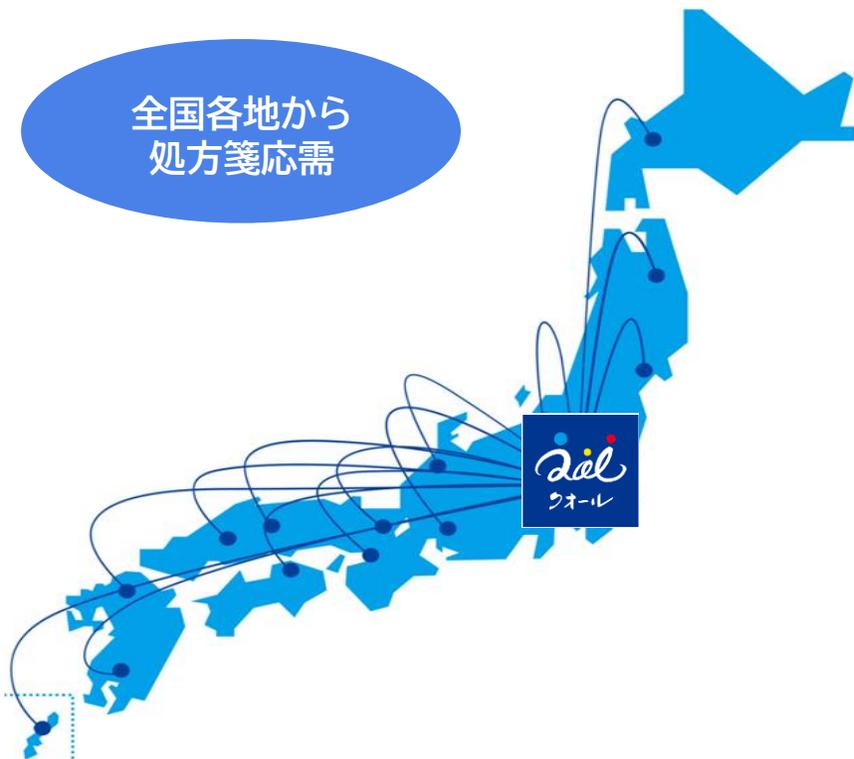
- 服薬支援ロボットによるアドヒアランス(服薬管理)の向上
- 医療安全管理アプリを自社開発、大手介護施設への導入(バーコード管理によるお薬の管理や飲み間違い防止)



服薬支援ロボ II*

クオール初のオンライン専門薬局

- ・2024年11月オープン『クオールどこでも薬局』
- ・処方箋応需枚数は堅調に増加



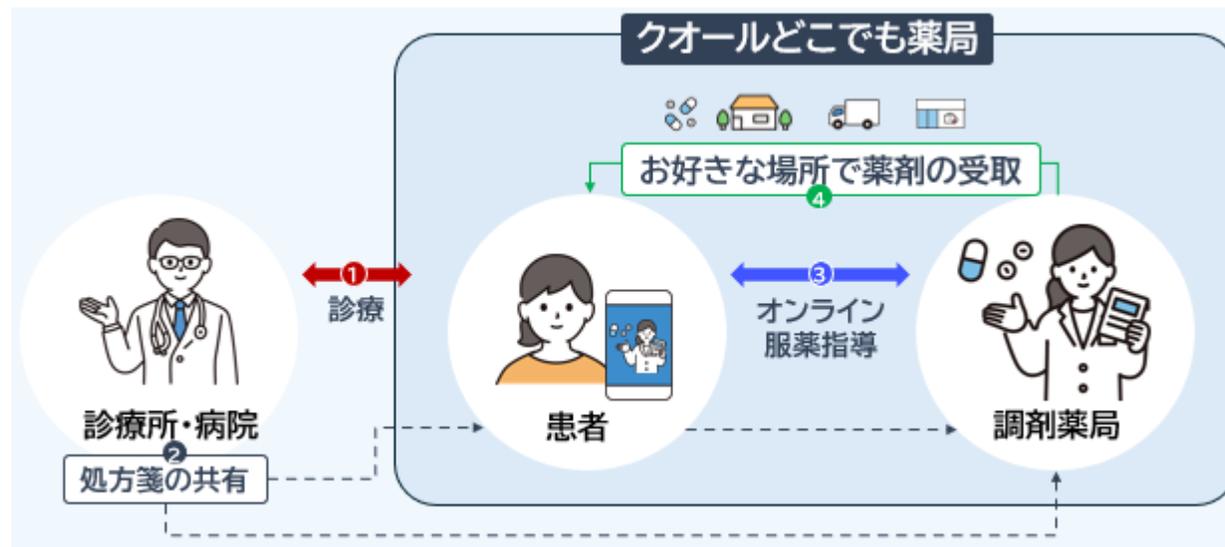
薬局事業



リアルとデジタルの融合



通信事業



- 増収増益
- 主力事業であるCSO事業、紹介派遣事業の規模が拡大
- 社員の採用強化及び生産性の向上により、薬剤師紹介派遣の成約数が特に増加

(単位:百万円)

	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	増減率(%)
売上高	10,009	10,057	0.5%
費用	9,181	9,770	6.4%
セグメント利益	1,131	1,225	8.3%

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報には、第1四半期連結会計期間より製薬事業に移管された藤永製薬㈱の数値は含まれておりません。

- ・第一三共エスファが2025年3月期第1四半期より連結子会社化(株式保有割合51%)
- ・AG新製品3成分が発売(第一三共エスファ、2024年12月)

(単位:百万円)

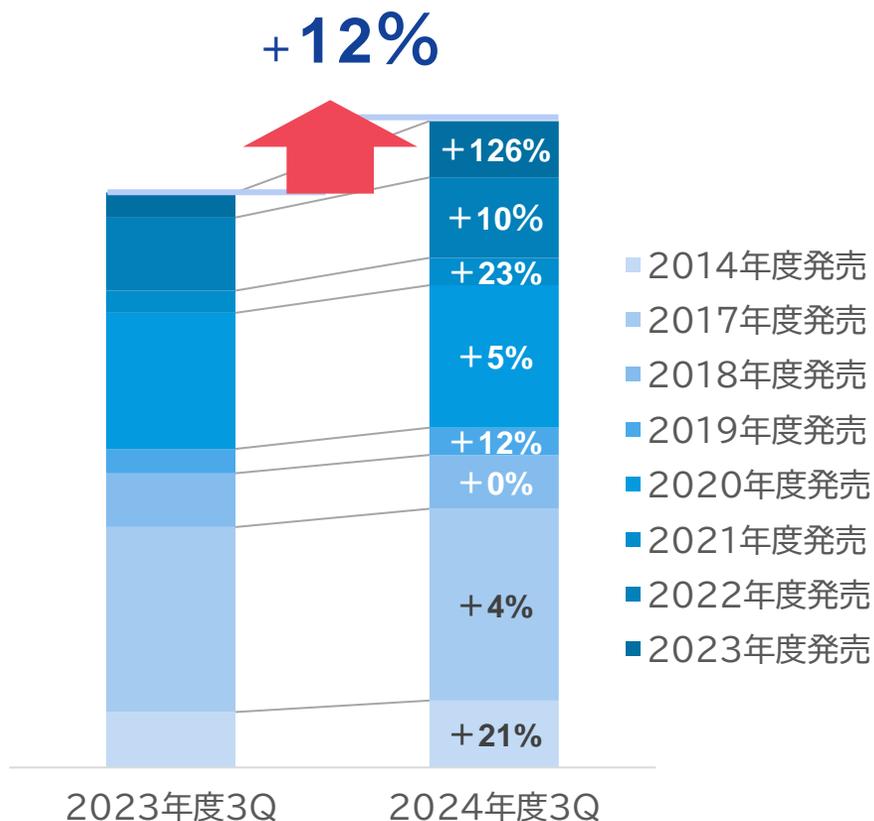
	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	増減率(%)
売上高	1,265	59,367	—
費用	1,511	53,927	—
セグメント利益	△246	5,440	—
主な増減要因	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価改定 ・新製品発売数(第3四半期累計): 2成分(AG1,GE1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬価改定 ・新製品発売数(第3四半期累計): 4成分(AG3,GE1) 	—

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報には、第1四半期連結会計期間より連結子会社化している第一三共エスファ株式会社の数値は含まれておりません。

AG既存製品の売上※は堅調に伸長(前年同期比+12%)

AG既存製品 売上※推移

※医療機関等(病院、薬局)の売上(2024年度薬価ベース)

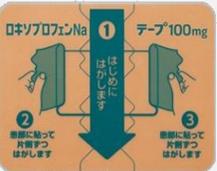


幅広いラインナップ

発売年度	一般名	主な使用用途
2014年度	レボフロキサシン	抗菌剤
2017年度	テルミサルタン テルミサルタン/アムロジピン テルミサルタン/ヒドロクロロチアジド オルメサルタン ロスバスタチン	降圧剤 降圧剤 降圧剤 降圧剤 高コレステロール血症治療剤
2018年度	レボフロキサシン点滴 シロドシン ゲフィチニブ	抗菌剤 排尿障害改善薬 抗がん剤
2019年度	ビカルタミド アナストロゾール タモキシフェン	抗がん剤 抗がん剤 抗がん剤
2020年度	メマンチン塩酸塩 エゼチミブ	アルツハイマー型認知症治療剤 高コレステロール血症治療剤
2021年度	ボルテゾミブ カルベジロール ピルシカイニド塩酸塩	抗がん剤 慢性心不全治療剤 不整脈治療剤
2022年度	アゾセミド フェブキソスタット	利尿剤 高尿酸血症治療剤
2023年度	ビソプロロールフマル酸塩	降圧剤

AG3成分7品目を2024年12月より発売開始

堅調にシェア拡大

製品名	製品	薬効	GE承認会社数※	発売後の進捗
リバーロキサバン錠・OD錠 10mg・15mg「バイエル」 先発品名： イグザレルト®錠・OD錠10mg・15mg		選択的直接作用型 第Xa因子阻害剤 (経口抗凝固薬)	7社	【トップシェア】 計画を大幅に上回るペースで進捗
ロキソプロフェンNa テープ 50mg・100mg「DSEP」 先発品名： ロキソニン®テープ50mg・100mg		経皮吸収型鎮痛 抗炎症剤	20社	他社製品が先行発売している環境だが 計画通り進捗 更なるシェア獲得目指す
ヒドロキシクロロキン 硫酸塩錠200mg「DSEP」 先発品名：プラケニル®錠200mg		免疫調整剤	2社	【トップシェア】 堅調に推移/ 更なるシェア獲得目指す



第一三共エスファ株式会社

2025年4月1日に株式を追加取得し、株式保有割合は **80%**へ

	株式取得日	株式保有割合	会計上の 取り扱い	売上寄与	経常利益 寄与	純利益 寄与
第1次株式取得	2023年10月1日	30%	持分法適用会社	—	30% (営業外収益)	30%
第2次株式取得	2024年4月1日	51% (+21%取得)	連結子会社	100%	100%	51%※
第3次株式取得	2025年4月1日	80% (+29%取得)	連結子会社	100%	100%	80%※

※残りは非支配株主に帰属する四半期純利益

【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

TEL:03-6430-9060

FAX:03-5405-9012

E-mail:ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ:<https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうる場合があります。確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心